

代表値の考え方＞最大値

Excel spreadsheet showing birth data by month and year. The spreadsheet has a ribbon at the top with 'ホーム' (Home) selected. The main data table has columns for '月' (Month), '出生数' (Birth count), and '単位' (Unit). The data is for the year 2015. A red box highlights the '2015 年度' cell (B1), the '出生数' column (B5:B17), and the '最大値' cell (B19). A red box also highlights the comma separator icon in the '数値' (Number) group on the ribbon. Yellow circles with numbers 1, 2, and 3 are placed over the '2015 年度' cell, the '出生数' column, and the '最大値' cell respectively.

月	出生数	単位
4月	83410	人
5月	83831	人
6月	83202	人
7月	88614	人
8月	86359	人
9月	86833	人
10月	85826	人
11月	80660	人
12月	84309	人
1月	82292	人
2月	76766	人
3月	81210	人

↓

最大値
88614

「記入シート」の記入の仕方を説明しています。
基本的に色のついているセルに入力します。

①調べたデータの年度を入力します。

②出生数を入力します。

キッズすたっとからダウンロードして、
コピーすると早いです。

③大きさを比べて、一番大きい数字をさがして、
人数と月を入力します。
「,」をつけると見やすくなります。

代表値の考え方＞最小値

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

月	出生数	単位
4月	83410	人
5月	83831	人
6月	83202	人
7月	88614	人
8月	86359	人
9月	86833	人
10月	85826	人
11月	80660	人
12月	84309	人
1月	82292	人
2月	76766	人
3月	81210	人

The formula bar shows `=MIN(B6:B17)` in cell B21. The range B6:B17 is highlighted with a red box. The formula dropdown menu is open, showing options like 合計(S), 平均(A), 数値の個数(C), 最大値(M), 最小値(I), and others. The '最小値(I)' option is selected. A blue arrow points from the '最小値(I)' option to the range B6:B17. A yellow circle with the number 1 is next to the formula bar. A blue circle with the number 2 is next to the '最小値(I)' option. A blue circle with the number 3 is next to the range B6:B17.

① 大きさを比べて、一番小さい数字をさがして、人数と月を入力します。

- 上級者向け
- ① 入力するセル（B21のセル）をクリックしたまま、右上の「Σ」の横にある「v」ボタンを押すと、代表値が選べます。
 - ② ここで「最小値」を選ぶと、最小値を探す範囲を選ぶことができます。
 - ③ ⇄で範囲を動かし、B6:B17の範囲を選択してEnterキーを押すと最小値が入力されます。

代表値の考え方＞平均値

平均値＝データの値の和÷データの個数

＝4月から3月までの出生数の和÷12 で求められます。

(参考) 2015年度の平均値 ＝ (83410+83831+83202+88614+86359+86833+85826+80660+84309+82292+76766+81210) ÷ 12
＝83609.333333...
≒83609

上級者向け

- ① 入力するセル (B24のセル) をクリックしたまま、右上の「Σ」の横にある「v」ボタンを押すと、代表値が選べます。
- ② ここで「平均」を選ぶと、平均を計算する範囲を選ぶことができます。
- ③ ⇄で範囲を動かし、B6:B17 の範囲を選択してEnterキーを押すと平均値が入力されます。



代表値の考え方＞中央値

1 データの大きさに順に並べてみよう

	月	出生数	単位
1	2月	76,766	人
2	11月	80,660	人
3	3月	81,210	人
4	1月	82,292	人
5	6月	83,202	人
6	4月	83,410	人
7	5月	83,831	人
8	12月	84,309	人
9	10月	85,826	人
10	8月	86,359	人
11	9月	86,833	人
12	7月	88,614	人

2

	人数
真ん中の値	

- ① データの大きさが小さい順に並べていきます。1番上の行に最小値が、1番下の行に最大値が入ります。
- ② 中央値=データを大きさ順に並べたとき、真ん中にくる値
※ データの個数が偶数のときは、真ん中の2つの値の平均
今回は、データの個数が12個と偶数なので、真ん中の6番目と7番目の値の平均が中央値になります。

$$\begin{aligned} \text{(参考) 2015年度の中央値} &= (83410 + 83831) / 2 \\ &= 83620.5 \\ &\div 83621 \end{aligned}$$

上級者向け

- ① 入力セル (H20のセル) をクリックし、「=MEDIAN(B6:B17)」と入力し、Enterキーを押すと中央値が入力されます。